

令和3年度

主要施策の成果に関する説明書

令和4年度滋賀県議会定例会  
令和4年9月定例会議提出

[ 知事公室部門 ]

# 滋 賀 県 の 施 策 の 分 野

- I 人 自分らしい未来を描ける生き方
- II 経 済 未来を拓く 新たな価値を生み出す産業
- III 社 会 未来を支える 多様な社会基盤
- IV 環 境 未来につなげる 豊かな自然の恵み

目 次

|         | 頁    |
|---------|------|
| I 人     | 該当なし |
| II 経 済  | 該当なし |
| III 社 会 | 1    |
| IV 環 境  | 該当なし |

(注) 主要施策の成果に関する説明書の記載について

「成果の説明」の欄中

【感】とあるのは「新型コロナウイルス感染症」対応関連事業を示す。

III 社 会

未来を支える 多様な社会基盤

| 事 項 名  | 成 果 の 説 明   |   |  |                     |  |  |  |                                |  |  |  |                     |                                     |   |  |                      |                  |                     |  |
|--|---|---|--|---------------------|--|--|--|--------------------------------|--|--|--|---------------------|-------------------------------------|---|--|----------------------|------------------|---------------------|--|
| <p>1 わかりやすく、タイムリーな広報・広聴の実施</p> <p>予 算 額      240,972,000 円</p> <p>決 算 額      237,153,298 円</p> | <p>1 事業実績</p> <p>(1) 【感】広報事業</p> <p>ア 広報刊行物の発行 <span style="float: right;">63,841,422円</span></p> <table border="1" data-bbox="750 549 2080 761"> <tr> <td data-bbox="750 549 1077 651">(ア)広報誌<br/>「滋賀プラスワン」</td> <td data-bbox="1077 549 1547 651">隔月発行(年6回) 各回484,000部 A4判16ページ カラー刷り<br/>新聞折込による配布、公共施設・商業施設での配架</td> <td colspan="2" data-bbox="1547 549 2080 651"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="750 651 1077 761">(イ)広報誌<br/>「滋賀プラスワン」<br/>音声版・点字版</td> <td data-bbox="1077 651 1547 761">隔月発行(年6回) 各回419部(音声版264部、点字版155部)<br/>視覚障害者等へ配布</td> <td colspan="2" data-bbox="1547 651 2080 761"></td> </tr> </table> <p>イ 県政番組の放送 <span style="float: right;">63,501,812円</span></p> <table border="1" data-bbox="750 834 2080 1016"> <tr> <td data-bbox="750 834 1077 943">(ア)テレビ放送<br/>(びわ湖放送)</td> <td data-bbox="1077 834 1547 943">テレビ滋賀プラスワン<br/>手話タイムプラスワン<br/>しらしがテレビ</td> <td colspan="2" data-bbox="1547 834 2080 943">合計放送時間575分間 年間33回(金曜日)<br/>10分間 年間20回(日曜日)<br/>5分間 年間365回(毎日)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="750 943 1077 1016">(イ)ラジオ放送<br/>(エフエム滋賀)</td> <td data-bbox="1077 943 1547 1016">滋賀プラスワンインフォメーション</td> <td colspan="2" data-bbox="1547 943 2080 1016">5分間 年間24回(第2・第4金曜日)</td> </tr> </table> <p>ウ 新聞広告の掲載 <span style="float: right;">2,487,242円</span><br/>6紙(朝日・毎日・読売・産経・中日・京都) 滋賀県版 記事下半5段 年2回</p> <p>エ ホームページの運営 <span style="float: right;">6,644,000円</span><br/>・ホームページの全体管理<br/>・運営支援業務を外部委託(1人常駐)<br/>・ウェブアクセシビリティ試験の実施</p> |   |  | (ア)広報誌<br>「滋賀プラスワン」 | 隔月発行(年6回) 各回484,000部 A4判16ページ カラー刷り<br>新聞折込による配布、公共施設・商業施設での配架 |  |  | (イ)広報誌<br>「滋賀プラスワン」<br>音声版・点字版 | 隔月発行(年6回) 各回419部(音声版264部、点字版155部)<br>視覚障害者等へ配布 |  |  | (ア)テレビ放送<br>(びわ湖放送) | テレビ滋賀プラスワン<br>手話タイムプラスワン<br>しらしがテレビ | 合計放送時間575分間 年間33回(金曜日)<br>10分間 年間20回(日曜日)<br>5分間 年間365回(毎日) |  | (イ)ラジオ放送<br>(エフエム滋賀) | 滋賀プラスワンインフォメーション | 5分間 年間24回(第2・第4金曜日) |  |
| (ア)広報誌<br>「滋賀プラスワン」  | 隔月発行(年6回) 各回484,000部 A4判16ページ カラー刷り<br>新聞折込による配布、公共施設・商業施設での配架  |   |  |                     |  |  |  |                                |  |  |  |                     |                                     |   |  |                      |                  |                     |  |
| (イ)広報誌<br>「滋賀プラスワン」<br>音声版・点字版   | 隔月発行(年6回) 各回419部(音声版264部、点字版155部)<br>視覚障害者等へ配布  |   |  |                     |  |  |  |                                |  |  |  |                     |                                     |   |  |                      |                  |                     |  |
| (ア)テレビ放送<br>(びわ湖放送)  | テレビ滋賀プラスワン<br>手話タイムプラスワン<br>しらしがテレビ   | 合計放送時間575分間 年間33回(金曜日)<br>10分間 年間20回(日曜日)<br>5分間 年間365回(毎日) |  |                     |  |  |  |                                |  |  |  |                     |                                     |   |  |                      |                  |                     |  |
| (イ)ラジオ放送<br>(エフエム滋賀)   | 滋賀プラスワンインフォメーション  | 5分間 年間24回(第2・第4金曜日)   |  |                     |  |  |  |                                |  |  |  |                     |                                     |   |  |                      |                  |                     |  |

| 事 項 名 | 成 果 の 説 明   |
|-------|---|
|       | <p>オ 滋賀の戦略的県外PR <span style="float: right;">20,292,000円</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットを活用したニュース配信（年間18回）</li> <li>・メディアへの働きかけ等によるテレビ番組や雑誌特集記事等の誘致</li> </ul> <p>カ 新型コロナウイルス感染症対応 <span style="float: right;">46,812,840円</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビCM、ラジオCMの制作、放送</li> <li>・知事メッセージ動画の制作、配信</li> <li>・啓発チラシの制作、配布</li> <li>・JR車内映像広告、SNS広告、学校の校内放送等による感染防止対策の啓発</li> </ul> <p>キ プレスセンター機能強化による「local to local」推進のための情報発信 <span style="float: right;">1,435,860円</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外向けプレスリリース 7回</li> <li>・海外向け知事会見 1回</li> </ul> <p>(2) 広聴事業</p> <p>ア 県政世論調査の実施 <span style="float: right;">2,391,570円</span></p> <p>標本数3,000人、有効回収率50.6%</p> <p>イ 県民と知事との対話事業</p> <p>「こんにちは！三日月です」2回、参加者19人<br/>(新型コロナウイルス感染症の影響等により実施回数を縮減)</p> <p>ウ 知事への手紙、県民相談等</p> <p>(ア) 知事への手紙の受付数9,623通<br/>(新型コロナウイルス感染症の影響により例年の約10倍に増加)</p> <p>(イ) 県民相談の件数623件</p> <p>エ 県政モニター</p> <p>定員400名、アンケート調査回数27回、年間平均回答率82.4%</p> |

| 事 項 名 | 成 果 の 説 明  |
|-------|--|
|       | <p>オ 青少年広報レンジャー<br/>委嘱8名、活動回数10回<br/>(新型コロナウイルス感染症の影響により委嘱期間を短縮)</p> <p>カ しがwebアンケートプラス<br/>調査実施回数7回(県内6回、県外1回) <span style="float: right;">1,369,500円</span></p> <p>キ LINEアンケート<br/>調査実施回数10回<br/>・県新型コロナ対策パーソナルサポート:9回<br/>・県公式LINE:1回</p> <p>ク 応答性を備えた対話と共感による広報サイクルの構築 <span style="float: right;">3,429,875円</span><br/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・LINEアンケート・しがWebアンケート結果について分析・可視化、公表</li> <li>・県民から寄せられた主な意見とそれに対する県の考え方等を県ホームページで共有(県民の声ひろば)</li> <li>・人流データ等を可視化した資料は、知事定例会見等において活用</li> </ul> </p> <p>2 施策成果</p> <p>(1) 【感】広報事業<br/>           広報誌、テレビ、ラジオ、ホームページのほか、ツイッターやフェイスブック等SNSを活用することにより、タイムリーに分かりやすく県政情報を情報発信することができた。</p> <p>ア 広報誌<br/>           閲読割合(県政世論調査で「読んでいる」と回答した人)が、令和2年度55.4%から令和3年度50.1%に減少した。</p> <p>イ 県政番組<br/>           テレビ滋賀プラスワンの視聴割合(県政世論調査で「見ている」と回答した人)が、令和2年度17.4%から令和3年度19.4%に増加した。</p> |

| 事 項 名 | 成 果 の 説 明   |
|-------|---|
|       | <p>ウ ホームページ<br/>年間閲覧数が、令和元年度45,881,736件、令和2年度131,101,146件、令和3年度 77,348,203件となった。</p> <p>エ 滋賀の戦略的県外PR<br/>新型コロナウイルス感染症拡大による取材自粛等の影響を受け、メディア掲載件数が令和3年度2,803件（ウェブ記事2,734件、雑誌・新聞57件、テレビ12件）から2,110件（ウェブ記事2,009件、雑誌・新聞96件、テレビ5件）となった。</p> <p>オ プレスセンター機能強化による「local to local」推進のための情報発信<br/>海外メディアに52件掲載され、滋賀ならではの情報を発信することができた。</p> <p>(2) 広聴事業<br/>県政世論調査、県民と知事との対話事業、知事への手紙、さらにウェブやSNSを用いたアンケート等を実施したことにより、多くの県民の声を把握し、関係部局につなぐことができた。</p> <p>3 今後の課題</p> <p>(1) 【感】 広報事業<br/>ICTの進展に伴い、世代によって情報の入手方法が異なる中、情報伝達手段の高度化・複雑化への対応や、情報が届きにくい方に対する発信を行う必要がある。また、自治体間競争が激化する中、広報に関する庁内の連携を図ることにより、効果的に滋賀の魅力等を発信していく必要がある。</p> <p>(2) 広聴事業<br/>より広く県民の意見・意向の収集に努めるとともに、寄せられた意見や提言等が県政に反映されるよう、庁内でのさらなる情報の共有化と活用を促していく必要がある。</p> |



| 事 項 名 | 成 果 の 説 明   |
|-------|---|
|       | <p>4 今後の課題への対応</p> <p>(1) 【感】 広報事業</p> <p>①令和4年度における対応<br/> 10月からデジタル版広報誌を隔月で発行し、より幅広い方々に県政情報が届けられるよう努める。また、令和3年度に策定した「滋賀県広報戦略」に基づき、社会情勢の変化に即応しながら戦略的な広報を展開するため、庁内各部局の企画員等で構成する広報戦略会議を設置し、庁内の連携を図ることにより、効果的な滋賀の魅力等の発信に努める。</p> <p>②次年度以降の対応<br/> 引き続き多様な情報発信手段を活用し、県政情報が必要とされる方々に届けられるよう努めるとともに、広報戦略会議での庁内連携等により、県政情報の効果的な発信を目指していく。</p> <p>(2) 広聴事業</p> <p>①令和4年度における対応<br/> 県民と知事との対話事業や、LINEアンケート等各種調査を積極的に活用し、より幅広い県民の声の収集に努めるとともに、ビッグデータの活用などにより、声として届きにくい県民の意向把握に努める。また、収集した県民の声を分析・可視化し、庁内に情報共有することで、速やかな施策への反映、政策判断への活用を目指すとともに、県ホームページ「県民の声ひろば」を通じて、広く県民にも周知することで応答性を示していく。</p> <p>②次年度以降の対応<br/> 引き続き県民の意向把握に努め、施策立案・政策判断への活用を目指すとともに、広報事業との連携により、応答性を備えた対話と共感による広報サイクルの構築に努める。</p> <p style="text-align: right;">(広報課)</p> |

| 事 項 名  | 成 果 の 説 明   |
|--|---|
| <p>2 危機管理機能の強化と、自助・共助による地域防災力の向上</p> <p>予 算 額 2,591,374,000 円</p> <p>決 算 額 1,000,663,554 円</p> <p>(翌年度繰越額 287,825,000 円)</p> | <p>1 事業実績</p> <p>(1) 危機管理機能の強化</p> <p>ア 危機管理センターの管理運営 44,360,353円</p> <p>(ア) 施設・設備の維持管理（消防設備、給排水設備、中央監視自動制御システム等の保守点検）</p> <p>(イ) 1階諸室の県民などへの貸し出し、希望者の見学受入れ<br/>施設1階の利用実績（令和3年4月1日～令和4年3月31日） 計114件（2,897人）<br/>来館者数（令和3年4月1日～令和4年3月31日） 計4,429人</p> <p>イ 危機管理体制の強化のための会議等の開催 98,000円</p> <p>(ア) 防災会議（1回）</p> <p>(イ) 地域防災危機管理監会議（1回）、危機管理員会議（1回）</p> <p>(ウ) 市町防災力強化研修の実施（2回、参加者41人）</p> <p>(エ) 新型コロナウイルス感染症対策調整会議（81回）、<br/>滋賀県新型コロナウイルス感染症対策本部 本部員会議（24回）</p> <p>ウ 原子力防災対策の強化 291,401,300円</p> <p>(ア) 地域防災計画（原子力災害対策編）の修正</p> <p>(イ) 原子力防災専門会議（1回）、原子力安全対策連絡協議会（1回）の開催</p> <p>(ウ) リスクコミュニケーションの推進<br/>研修会・講習会の開催（参加者 計656人）<br/>・放射線実験教室（1回）、放射線・原子力防災セミナー（1回）、防災関係研修会（15回）、<br/>出前講座（6回）の開催</p> <p>(エ) 原子力防災訓練の実施</p> <p>① 本部事務局運営訓練・緊急時モニタリング訓練</p> <p>・実施日：令和3年10月14日（木）から15日（金）</p> <p>・場 所：危機管理センター、衛生科学センター、長浜市内、高島市内</p> <p>・内 容：災害対策（警戒）本部事務局運営訓練、緊急時モニタリング本部運営訓練、空間放射線量率測定訓練、環境試料採取訓練、環境試料分析訓練</p> <p>・参加数：37機関168人</p> |

| 事 項 名 | 成 果 の 説 明  |
|-------|--|
|       | <p>② 滋賀県災害対策本部等本部員会議運営訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日：令和3年10月29日（金）</li> <li>・場 所：危機管理センター、福井県美浜原子力防災センター等</li> <li>・内 容：災害対策本部等運営訓練、関係機関初動対応訓練、原子力防災センター参集要員に係る図上訓練</li> <li>・参加数：7機関91人</li> </ul> <p>③ 滋賀県・長浜市原子力防災訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日：令和3年11月20日（土）</li> <li>・場 所：長浜市内（長浜市立木之本小学校、湖北体育館等）</li> <li>・内 容：屋内退避訓練、住民避難訓練、避難中継所設置運営訓練（スクリーニング、除染方法の確認）、原子力災害医療訓練</li> <li>・参加数：18機関277人、ほか住民42人</li> </ul> <p>(オ) 環境放射線モニタリング関連システムの運用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリングポスト（固定・可搬型、電子式線量計）の運用</li> <li>・環境放射線テレメータシステム（固定型モニタリングポストのサーバ、通信機器）の更新</li> <li>・モニタリング情報共有システム（RAMISES）の運用</li> <li>・環境放射線モニタリング車の更新</li> </ul> <p>(カ) 原子力防災ネットワークシステムの運用</p> <p>(キ) 原子力防災資機材の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放射線測定器、防護服、防護マスク等の購入</li> <li>・安定ヨウ素剤の整備</li> <li>・一時集合場所等への資機材整備</li> </ul> <p>エ 消防力の強化 <span style="float: right;">11,651,263円</span></p> <p>(ア) 地域消防組織の強化・活性化を図るため、公益財団法人滋賀県消防協会が実施する事業に対し補助</p> <p>(イ) メディカルコントロール協議会の開催（2回）※うち書面開催1回</p> <p>オ 防災航空体制の整備 <span style="float: right;">245,616,671円</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災ヘリコプターの運航</li> </ul> <p style="padding-left: 40px;">活動実績：救助48件、救急28件、災害応急対策2件、広域応援18件、市町等との連携訓練10件、自隊訓練180件、その他17件 計303件</p> |

| 事 項 名 | 成 果 の 説 明   |
|-------|---|
|       | <p>カ 【感】 みんなでつくる滋賀県安心・安全店舗認証事業<br/> ・県が定める基準に対応して対策を実施する飲食店等に対し認証を実施（3,509店舗） 117,527,541円</p> <p>キ 【感】 PCR等検査無料化事業 280,633,042円<br/> ・無症状者への新型コロナウイルスに関する検査を無料化<br/> ワクチン検査パッケージ・対象者全員検査等定着促進事業：3,494件<br/> 一般検査事業：29,280件</p> <p>(2) 自助・共助による地域防災力の向上</p> <p>ア 地域防災力の向上 987,413円<br/> (ア) 個別避難計画作成の取組を進めるための標準的な手順を示すモデル「滋賀モデル」の実証<br/> 大津市、高島市をモデル地域として「滋賀モデル」を実証<br/> (イ) 滋賀の自主防災組織パワーアップ事業<br/> 県内4地区をモデル地域として選定し、地区防災計画の策定に向けた取組を支援<br/> (ウ) 女性の参画による防災力向上事業<br/> 防災啓発カード（案）の作成や、「女性の参画による防災力向上ワークショップフォーラム」を開催<br/> (エ) 自主防災組織リーダー・防災士養成講座（2回、参加者180人）<br/> (オ) 災害から子どもを守る研修会（1回、参加者92人）<br/> (カ) コロナ禍の避難所運営女性リーダー等養成講習（2回、参加者83人）</p> <p>イ 防災・減災意識の醸成 8,387,971円<br/> (ア) 防災カフェ（11回、参加者510人）<br/> (イ) メディア連携総合防災訓練事業<br/> (ウ) 地震防災出前講座（15回、参加者1,213人）<br/> (エ) 一人ひとりに合った避難行動計画（「マイ・タイムライン」）の作成支援<br/> （作成支援ツール「しがマイ・タイムライン」の作成、作成出前講座の実施（12校、531名））</p> |

| 事 項 名 | 成 果 の 説 明  |
|-------|--|
|       | <p>2 施策成果</p> <p>危機事案に関する様々な情報を収集・分析し、関係機関で共有しつつ対応を行ったほか、緊急初動対策班訓練、原子力防災訓練等の実施などにより、危機意識および対応能力の向上を図った。また、新型コロナウイルス感染症の影響により開催が限定的になったものの、オンラインでの各種研修会や出前講座など研修・交流プログラムを実施することにより、防災意識の高揚を図る機会を提供し、自助・共助による地域防災力の向上を推進した。</p> <p>3 今後の課題</p> <p>人口減少・少子高齢化の進展や人間関係の希薄化等に伴い、地域防災力の低下が課題となっており、女性や子ども・若者も含め、多様な主体による担い手の確保・育成を進める必要がある。また、全国各地で大規模災害が発生し、高齢者をはじめとした避難行動に支援を要する災害時要配慮者に被害が集中しており、的確な避難対策の実施が求められている。</p> <p>4 今後の課題への対応</p> <p>①令和4年度における対応</p> <p>新型コロナウイルスの感染状況に応じて、庁内・庁外との連携を密にし、適切に対応していく。</p> <p>また、地域防災の担い手となる防災士や避難所運営リーダーの養成に取り組むとともに、モデル地域における地区防災計画の策定支援等を通じ、地域防災力の向上を図る。</p> <p>また、高齢者や障害者など、災害時要配慮者の個別避難計画の策定が全県で進むように、モデル地域の実証結果を踏まえ、県内全市町に横展開していく。</p> <p>②次年度以降の対応</p> <p>災害対応の検証や訓練の結果を踏まえた計画・マニュアルの見直しを継続する。</p> <p style="text-align: right;">(防災危機管理局)</p> |